

2013(平成25)年度 法学既修者入学試験問題(2月試験)

## 商 法

(90分, 総点100点)

### 試験開始の指示があるまで開かないこと

#### 注意

1. 問題冊子は, 表紙をふくめて4ページで, 問題は2問ある。
2. 解答用紙は2枚配布する。解答は解答用紙に記入し, 解答の末尾には, 「以上」と明記すること。また, 用紙が不足した場合には, 追加の用紙を配布するので, 挙手して監督者に知らせること。
3. 下書き用紙として, 白紙を1枚配布する。ただし, 下書き用紙の提出は認めないので, 必ず解答用紙に清書して提出すること。
4. 解答用紙への受験番号, 氏名記入は, 監督者の指示によること。また, 「管理番号」欄は, 大学側が使用するので受験生は記入しないこと。
5. 問題の内容に関する質問には, 応じない。
6. 試験時間内の退場はできない。なお, 試験中の発病等やむを得ない場合には, 挙手により監督者に知らせ, その指示に従うこと。
7. 試験終了後は, 監督者の指示があるまで, 各自の席で待機すること。
8. 問題冊子及び下書き用紙は, 各自で持ち帰ること。

## 第1問

ホームページの代行制作を業とする甲株式会社（以下「甲社」という。）は、資本金1億円、10年前にAが中心となって設立された会社である。設立以後、Aが代表取締役となり、Bが代表権のない取締役であったが、Aが2年前に退任した後、Aに代わってBが代表取締役となり、新たに、Cが取締役に就任した。

その後、平成24年12月、突然、同社が倒産したので、甲社の株主X1が調べてみると、以下のような事情が判明した。Aは、5年前、株主総会の承認を得ないで甲社から5,000万円を借りて高級マンションを購入したが、貸金の弁済期が平成26年12月とされていたことから、現在も返済していない。Bは、代表取締役になった後も個人でやっているアフィリエイト事業に専念しており、Cに甲社の経営を全て任せ、代表取締役の印章も渡していた。Cは、1年位前から甲社の経営が極度に悪化して、このままでは近いうちに倒産することが予想される事態になっても、Bに隠して代表取締役B名義で金融業者X2から高利で金銭を借り入れ、その場をしのいでいた。以上を前提にして、以下の各小問に答えなさい。

### 〔小問1〕

株主X1は、Aに対して、自己が保有する株式が無価値になってしまった損害の賠償を求める訴えを提起しようと考えたが、認められるか。(30点)

### 〔小問2〕

債権者X2は、BおよびCに対して、甲社に対する貸付金を回収できない損害の賠償を求める訴えを提起しようと考えたが、認められるか。債権者代位訴訟にはふれなくてもよい。(30点)

## 第2問

甲株式会社（以下「甲社」という。）は、その定款において、「株主は、代理人によって議決権を行使することができる。ただし、代理人は当社の株主に限るものとする。」と規定していた。甲社は、欠員となった2名の取締役を補充する必要性に迫られて、平成24年12月25日に、取締役の選任を議題とする臨時株主総会を招集した。甲社の大株主である福岡県（以下「F」という。）は知事の指示を受けた職員を代理人として株主総会に出席させ、議決権を行使させようとしたところ、甲社は、代理人である当該職員は当社の株主ではないとして、上記の定款規定の存在を理由に出席を拒否し、予定通りに本件臨時株主総会を開催して、取締役2名（AおよびB）を選任する決議を行った。以上を前提にして、以下の各小問に答えなさい。

### 〔小問1〕

AおよびBの取締役選任に反対しているFは、裁判上どのような対応策をとることができるか。(20点)

### 〔小問2〕

AおよびBのうち、Aは、本件臨時株主総会終了後に開催された取締役会において代表取締役に選定された。その後、Aは、甲社を代表して、Cからパソコン数十台を購入する契約をCと締結した。契約通りにパソコンを甲社に納入したCは、その代金を甲社に請求することができるか。(20点)

余白